

令和 3 年 6 月 17 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H01899

研究課題名(和文) イスラーム・ジェンダー学構築のための基礎的総合的研究

研究課題名(英文) JSPS Research Project on Islam and Gender

研究代表者

長澤 榮治 (Nagasawa, Eiji)

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・研究員

研究者番号：00272493

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 30,600,000円

研究成果の概要(和文)：本プロジェクトは、イスラームにとってジェンダー的な公正とは何か、という問題意識にもとづき、文化・政治・開発などにわたる諸問題を学際的に研究することを目的とした。また、これまで個別に行われてきた中東・イスラーム地域のジェンダー研究をまとめ上げ、かつ広範囲の研究領域にジェンダー視点を導入することにより「イスラーム・ジェンダー学」という新たな知的営為の基礎固めを行うことを目指した。個別研究・公募研究・全体集会等を通じ考察を深め、国際ワークショップ・国際学会への参加を通じて国際学術交流を図った。一般市民向けの公開セミナーやイスラーム・ジェンダー・シリーズの刊行を通じて成果の社会還元に努めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現代世界においては、難民や移民、マイノリティと差別の問題など人々を分断する動きが強まる一方、異文化共生社会の実現に向けての知的・社会的努力が積み重ねられている。こうした課題にとって重要な焦点となっているのが「イスラーム」と「ジェンダー」をめぐる問題領域である。本プロジェクトは、このような問題意識に立ちながら、多様な専門分野の研究者の参加によって新たな学術的知見を得るとともに、教育現場の関係者や障がい者、性的少数者など、分断や差別の問題に関心のある市民の参加も得て議論の社会的広がりも確保することができた。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this project was to conduct interdisciplinary research on various issues pertaining to culture, politics and development, based on the question of what gender justice means for Islam. In addition, the project aimed to integrate gender studies in the Middle East and the Islamic world, which had been conducted separately, and to introduce a gender perspective to a wide range of research areas, thereby laying the groundwork of a new intellectual endeavor called “Islam and Gender Studies”.

For this purpose, we conducted individual research, organized joint research teams and plenary sessions, and promoted international academic exchange through participation in international workshops and conferences. The project also aimed to make contributions to society through open seminars for the general public and the publication of the Islam & Gender Studies Series.

研究分野：中東地域研究

キーワード：イスラーム ジェンダー イスラーム法 家族 フェミニズム セクシュアリティ 結婚 社会運動

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

近年、中東・イスラーム地域を理解するための鍵概念として、ジェンダーをめぐる問題が積極的に取り上げられるようになってきている。ただし残念なことに、イスラームとジェンダー的正義(公正)の対立、すなわちイスラームと女性の抑圧を短絡的に結びつける言説がしばしば見られるのが現状である。

しかし、中東・イスラーム地域の社会で現実に展開しているのは、イスラームを通じてジェンダー的な公正さとは何かを問う試み、あるいは争いである。この争いは、(1) 思想や言説や表象のフィールドと、(2) 社会的実践のフィールドの双方で行われている。

前者(1)では、女性の法的地位、幼児婚の禁止、家族法の改正論争やFGM(女性性器切除)・LGBT(性的少数者)と宗教的規範などといった法律やメディア的言説、そして文学や映画における女性や男性の表現や表象をめぐる局面において、ジェンダーの視点からイスラーム的理念の現実的な形態が争われている。また後者(2)では、女性が担うことの多い家事・育児、介護、また看護や医療の現場での宗教的倫理、慈善や穢れの意味、女性と教育、とくにイスラームに関わるリテラシーの向上、女性に対する暴力、移動と活動の自由などの局面において、ジェンダー的公正に対する実践的な問いかけと運動が展開している。

これまで日本では、ジェンダーに関わる主題を扱った欧米語の研究書が複数翻訳出版されている他、若手研究者を中心とした、この主題への取り組みも、ここ数年で急激に増加している。また以前から、日本の中東・イスラーム研究者の間では、歴史文書を利用した家族史研究や、法学書を利用した家族法研究、女性の教育・就労支援といった開発学に関わる研究蓄積がある。こうした状況の中で近年、民間財団などの研究助成を受け、イスラームとジェンダーに関わる様々なテーマを扱う共同研究が実施されてきた。これらの従来の研究蓄積を接合しつつ、イスラームとジェンダーに関する新しい研究領域を構築すること、またそのために複数の専門分野にまたがる研究者を組織化し、相互交流を図ることは中東・イスラーム研究の新たな展開として、必要不可欠な重要課題の一つと判断した。

2. 研究の目的

今日の中東・イスラーム地域は、革命・内戦・難民などの諸問題を抱えているが、それらにより深く構造的に分析するためにはジェンダーの視点が不可欠である。とくにイスラームにとってのジェンダー的公正という問題を軸に、文化・政治・開発などの諸側面を学際的に研究することが重要な課題となっている。本研究は、従来、個別に行われてきた当該地域のジェンダー研究をまとめ上げ、かつ広範囲の研究領域にジェンダー視点の導入を促進することで、イスラーム・ジェンダー学という新しい研究分野の構築に向けた基礎固めを目的とする。

具体的には、イスラームとジェンダー的公正をめぐる社会的動態の考察、ジェンダーの視点からの政治研究の再検討、広義の「開発」におけるジェンダー問題と実践という三点を主要課題とし、総合的に研究していく。具体的なテーマとしては、「思想と表象」、「法と規範」、「家族と親族」、「教育とイスラーム知」、「開発と社会的公正」、「政治と権力」、「身体と医療」、「移動と労働」、「記憶と記録」といった9つの課題を設定した。

3. 研究の方法

上記の研究目的に関する諸課題について、個別研究と共同研究を進めるとともに、とくに重要テーマについては、研究分担者・協力者の自発的な研究会として、以下の「公募研究会」を組織した。「砂漠の探究者」を探して(アル=ニサーイーヤート勉強会)、開発とトランスナショナルな社会運動、イスラーム・中東における家族・親族の再考、フィールドから語るイスラーム、ジェンダー、セクシュアリティ、イスラーム圏における「ジェンダー化された暴力/苦悩」、国際ジェンダー規範とイスラーム、イスラーム家族・女性関連法の運用実態の研究、である。

これらの研究会が定期的な研究集会を運営し、考察を深めると並行し、毎年、全体集会シンポジウムを開催して、問題意識を共有し、新しい研究課題を開拓する機会を作った。とくに「イスラモフォビアの時代とジェンダー」(2017年度)と「共生とマイノリティ」(2018年度)では、現代世界で強まる差別と分断の動きや異文化共生社会の実現に関して議論がなされた。

また、研究成果の首都圏以外での普及を目指して、以下の公開セミナーが開催された。「イスラーム社会における教育とジェンダー」(名古屋市:2016年度)、「イスラーム世界の結婚最前線」(北九州市:2017年度)、「中東の妊活事情:家族・医療・イスラームの支点から」(京都市:2018年度)、「日本に暮らすムスリムを取り巻く諸問題:職場・学校・地域から」(名古屋市・オンライン開催:2019年度)である。

国内外での関係学会でもセッションを組織した。日本中東学会年次大会(2016年度「現代ムスリム社会における宗教権威」、2017年度「イスラーム・ジェンダー学の未来:セクシュアリ

ティにみる国家・宗教・ジェンダー』、2018年度「現代イスラームにおける「伝統」の継承とジェンダー」および世界中東学会連合大会 WOCMES(2018年度: Transnational social movements in and beyond the Middle East and North Africa and their dynamism)などである。また、分担者が個々の研究課題のための海外調査を実施するとともに、海外の研究者を招聘して国際シンポジウム・国際セミナーを実施した。

イスラーム・ジェンダー学の資料的基盤を構築するために、アラビア語やペルシア語などの関係文献の収集を実施した。ウェブサイト URL を通じて、上記の研究会の通知やその成果を紹介する活動を積極的に進めた。

4. 研究成果

初年度の2016年度には、全体集会などの記録として、小冊子『イスラーム・ジェンダー学の構築に向けて』を刊行した。また、公開セミナーや公募研究会の研究活動の成果として、研究叢書イスラーム・ジェンダー・スタディーズ(長沢栄治監修: 明石書店)の各巻を刊行した。既刊は、第一巻: 森田豊子・小野仁美編『結婚と離婚』(2019年11月)、第二巻: 鷹木恵子編『越境する社会運動』(2020年3月)、第三巻: 服部美奈・小林寧子編『教育とエンパワーメント』(2020年12月)であり、以下、第四巻: 鳥山純子編『フィールド経験からの語り』、第五巻: 岡真理・後藤絵美編『記憶と記録に見る女たちと百年』が刊行予定である。分担者の個別の研究成果も数多く出版されたが、主な単著の成果として鷹木恵子『チュニジア革命と民主化人類学的プロセス・ドキュメンテーションの試み』明石書店(2016年9月)、長沢栄治『近代エジプト家族の社会史』東京大学出版会(2019年3月)、小野仁美『イスラーム法の子ども観ジェンダーの視点でみる子育てと家族』慶應義塾大学出版会(2019年11月)がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計45件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 10件）

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 84
2. 論文標題 書評 Kato, Hiroshi and Erina Iwasaki. 2016. Rashda: The Birth and Growth of an Egyptian Oasis Village	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会経済史学	6. 最初と最後の頁 131-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩崎えり奈	4. 巻 41
2. 論文標題 (書評) 鷹木恵子著『チュニジア革命と民主化 人類学的プロセス・ドキュメンテーションの試み』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地中海学研究	6. 最初と最後の頁 169-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒木英充	4. 巻 714
2. 論文標題 世界に広がるアラブ移民	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歴史と地理 世界史の研究	6. 最初と最後の頁 50-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒木英充	4. 巻 15
2. 論文標題 なぜシリア内戦は終わらないのか 大国の戦場になるシリア	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 DAYS JAPAN	6. 最初と最後の頁 16-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒木英充	4. 巻 976
2. 論文標題 世界秩序への挑戦 - 日独中ソ提携構想の系譜 (田嶋信雄) 報告へのコメント 1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 18-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋圭、小野仁美、後藤絵美、澤井真	4. 巻 21
2. 論文標題 現代イスラームにおける「伝統」の継承とジェンダー：序論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジェンダー研究	6. 最初と最後の頁 109-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤絵美	4. 巻 21
2. 論文標題 邦訳クurlアーンとジェンダー 無意識の伝統主義	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジェンダー研究	6. 最初と最後の頁 157-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 セッティ・ジュヌヴィエーヴ・ヘディス (鷹木恵子 訳)	4. 巻 9
2. 論文標題 イスラームのスピリチュアリティにおける女性 - アラーウィー教団の事例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アントロポロギ	6. 最初と最後の頁 9-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岸智子	4. 巻 163
2. 論文標題 女子アスリートのイメージと現実	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊アラブ	6. 最初と最後の頁 21-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鳥山純子	4. 巻 -
2. 論文標題 病の前の勇の姿を求めて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「中東における家族の変容」研究会調査報告書	6. 最初と最後の頁 37-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 56(2)
2. 論文標題 アラブ詩における非暴力主義の伝統 中東と日本の平和主義を考える (続き)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 詩人会議	6. 最初と最後の頁 84-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 書評Shohei Sato, Britain and the Formation of the Gulf States	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地域研究	6. 最初と最後の頁 32-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上薫	4. 巻 82(3)
2. 論文標題 名誉解釈の多様化と暴力：イスタンブルの移住者社会の日常生活をめぐって	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 328-345
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中雅一・嶺崎寛子	4. 巻 82(3)
2. 論文標題 ムスリム社会における名誉に基づく暴力 序	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 311-327
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶺崎寛子	4. 巻 82(3)
2. 論文標題 名誉に基づく暴力を回避する 2000年代のエジプトを事例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 346-366
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒木英充	4. 巻 19
2. 論文標題 ダマスカスのウマイヤモスク	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Field Plus	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒木英充	4. 巻 73
2. 論文標題 日本におけるイスラームとの共生	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 世界史のしおり	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 栗田禎子、長沢栄治、黒木英充、高橋和夫、白杵陽	4. 巻 905
2. 論文標題 座談会 中東の地殻変動をどう見るか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 132-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 服部美奈・西野節男	4. 巻 64(1)
2. 論文標題 トルコにおける宗教指導者養成 - 政府による取り組みと「ヒズメット(奉仕)運動」の展開	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)	6. 最初と最後の頁 145-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 服部美奈	4. 巻 207
2. 論文標題 インドネシアの高等教育戦略	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 カレッジマネジメント	6. 最初と最後の頁 52-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鳥山純子	4. 巻 265
2. 論文標題 消費主義時代のエジプトの家族 女性の視点から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジ研ワールド・トレンド	6. 最初と最後の頁 10-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鳥山純子	4. 巻 20
2. 論文標題 書評、Kevin Gray, Hassan Bashir, and Stephen Keck 編Western Higher Education in Asia and the Middle East: Politics, Economics, and Pedagogy (Lexington Books 2017年)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ジェンダー研究	6. 最初と最後の頁 179-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鳥山純子	4. 巻 13
2. 論文標題 エジプトの私立学校産業に見る、商業主義的ライフスタイルの受容、浸透、発展	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報文化論	6. 最初と最後の頁 43-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤 榮治	4. 巻 9
2. 論文標題 Henri Curriel: A Jewish Egyptian Dedicated to Peace and Socialism	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Mediterranean Review	6. 最初と最後の頁 77-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤 榮治	4. 巻 51.11
2. 論文標題 アラブ革命を振り返る 背景・展開・遺産	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本の科学者	6. 最初と最後の頁 6-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤栄治	4. 巻 55.3
2. 論文標題 中東と日本の平和主義を考える ラフィーク・シャームーの作品を手がかりにして	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 詩人会議	6. 最初と最後の頁 67-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤博・岩崎えり奈	4. 巻 23
2. 論文標題 Alexandria in the Time of Constantine Cavafy (1863-1933)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mediterranean World	6. 最初と最後の頁 81-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白杵 陽	4. 巻 43-20
2. 論文標題 グローバル・ジハードという名の妖怪	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 53-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 臼杵 陽	4. 巻 890
2. 論文標題 「緩衝国家」にも押し寄せる「イスラム主義化」の波 ヨルダンジャーナリスト殺害事件の衝撃	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 232-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 臼杵 陽	4. 巻 45-1
2. 論文標題 予測不可能のトランプ次期政権の登場に揺れる中東	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 204-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 臼杵 陽	4. 巻 10
2. 論文標題 複数宗教の聖地エルサレム	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 宗教と現代がわかる本 2016	6. 最初と最後の頁 44-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶺崎寛子	4. 巻 -
2. 論文標題 グローバル化を体現する宗教共同体 イスラーム・アフマディーヤ教団	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代宗教2017	6. 最初と最後の頁 127 152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鷹木 恵子	4. 巻 3
2. 論文標題 チュニジアにおける「個人地位法」制定から60年目の論争 相続の男女平等 と女性の配偶者選択の自由をめぐって	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中東研究	6. 最初と最後の頁 73-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kashiwagi Kenichi, Iwasaki Erina	4. 巻 32
2. 論文標題 Effect of agglomeration on technical efficiency of small and medium sized garment firms in Egypt	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 African Development Review	6. 最初と最後の頁 14 ~ 26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1467-8268.12411	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岩崎 えり奈	4. 巻 61
2. 論文標題 チュニジア南部タタウィーン地域における女性の出生行動の変化 2事例村の調査結果	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア経済	6. 最初と最後の頁 35 ~ 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.61.1_35	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黒木英充	4. 巻 639
2. 論文標題 イスラームにおける食の戒律と自由	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大阪保険医雑誌	6. 最初と最後の頁 27 ~ 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山岸智子	4. 巻 167
2. 論文標題 イランと日本の文化の位相 「二階堂家物語」に結実したもの	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊 アラブ	6. 最初と最後の頁 12～13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuko KOBAYASHI	4. 巻 18
2. 論文標題 Islamic Periodicals in Late Colonial Indonesia A Picture from the IPO 's Lists of Vernacular Periodicals	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アカデミア (南山大学紀要社会科学編)	6. 最初と最後の頁 95～118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 129 - 3
2. 論文標題 「イスラーム・ジェンダー学」から学んだもの	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 35～37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 13
2. 論文標題 書評 黒田彩加著『イスラーム中道派の構想力 現代エジプトの社会・政治変動のなかで』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 224～227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鳥山純子	4. 巻 5
2. 論文標題 書評 クリスチャン・ヨプケ著『ペール論争 リベラリズムの試練』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 イギリス女性史研究会	6. 最初と最後の頁 104 ~ 105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鳥山純子	4. 巻 726
2. 論文標題 読書案内 「ムスリムの家族」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史と地理 世界史の研究260	6. 最初と最後の頁 40 ~ 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鳥山純子	4. 巻 21
2. 論文標題 現代エジプトにおける高齢者介護 家族のダイナミクスに注目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『ジェンダーフォーラム年報』	6. 最初と最後の頁 115 ~ 130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00019450	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶺崎 寛子	4. 巻 93
2. 論文標題 イスラームとジェンダーをめぐるアポリアの先へ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 191 ~ 215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20716/rsjars.93.2_191	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 服部美奈、神内陽子	4. 巻 66
2. 論文標題 「インドネシアの法学教育と法曹養成 - 一般系総合大学とイスラーム大学の比較の観点から - 」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）	6. 最初と最後の頁 173～198
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計77件（うち招待講演 21件 / うち国際学会 19件）

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Dragomanity: Multiple Belonging and Multi-Faceted Strategy for Survival and Prosperity
3. 学会等名 6th meeting of the project “Studies on Religious and Politico-Social Minority Groups in Middle Eastern Societies”
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Preamble: Syrian civil war in comparative perspectives
3. 学会等名 Workshop “Syrian Civil War: Comparative Perspectives with Lebanese and Yugoslavian Civil Wars”
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Historical Buildings and Community
3. 学会等名 Symposium “The Silk Road Friendship Project: Saving Syrian Cultural Heritage for the Next Generation”（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 シリア内戦と「対テロ戦争」
3. 学会等名 第219回 広島大学平和センター研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 オスマン後期・騒乱頻発期のアレppoの都市構造と都市民
3. 学会等名 新学術領域「都市文明の本質」C01 計画研究05・06第1回合同研究会「都市アレppoの歴史と現在」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 「対テロ戦争」とイスラーム
3. 学会等名 東京外国語大学夏期世界史セミナー・世界史の最前線
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 世界秩序への挑戦 - 日独中ソ提携構想の系譜（田嶋信雄）報告へのコメント
3. 学会等名 2018年度歴史学研究会大会全体会「戦争を検証する 「9.11事件」の歴史化をめざして」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 シリア内戦から見える世界
3. 学会等名 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会第74回「知の拠点セミナー」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 後藤給美
2. 発表標題 無意識の伝統主義 邦訳クルアーンとジェンダー
3. 学会等名 日本中東学会第34回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Emi Goto
2. 発表標題 Translations of the Qur'an and Gender Justice: The Case of Izutsu Toshihiko's Work in Japan.
3. 学会等名 5th World Congress for Middle Eastern Studies
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 後藤給美
2. 発表標題 エジプト女性運動の「長い20世紀」 連帯までの道のり
3. 学会等名 シンポジウム アジアの女性
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Emi Goto
2. 発表標題 Brand Making and the Cultural Agenda: How the Muslim Swimsuit Was Created
3. 学会等名 One Day Workshop: Globalization of Sportswear: Brand Marketing, Technology and Cultural Agenda, c.1880-2010s
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林寧子
2. 発表標題 インドネシア・ムスリムの見た第一次世界大戦後の世界 - 国際秩序再編の中のイスラーム
3. 学会等名 東南アジア学会第99回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林寧子
2. 発表標題 イスラームとナショナリズム：『ピンタン・イスラーム』を読み解く
3. 学会等名 セミナー「“国民国家”インドネシア再考」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiko Takaki
2. 発表標題 The Transnational Religious Movement of the Sufi Tariqa Alawiyya and its Dynamism
3. 学会等名 5th World Congress for Middle Eastern Studies
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 「インドネシア 国際水準校：国民教育における卓越性と教育の平等」（課題研究 公教育制度の第3ステージへの模索）
3. 学会等名 日本比較教育学会第54回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松永典子
2. 発表標題 文献報告Judith Butler, Notes toward a Performative Theory of Assembly
3. 学会等名 Third Wave Feminism研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kaoru Murakami
2. 発表標題 Reconsidering Honor :Everyday violence and social position among migrants in Istanbul
3. 学会等名 5th World Congress for Middle Eastern Studies
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoko Yamagishi
2. 発表標題 Muslim Network and the Silk-Road: from socio-cultural perspectives
3. 学会等名 Summary of the "Nankai-Meiji" East Asia Cultural Forum (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoko Yamagishi
2. 発表標題 Iranian Nationality and Networking
3. 学会等名 KAMES International Conference 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山岸智子
2. 発表標題 サッカーとエスニシティ 中東研究者の視点から
3. 学会等名 明治大学アカデミックフェス
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山岸智子
2. 発表標題 報告
3. 学会等名 特別ワークショップ イラン革命から40年 何が変わり、何が実現したか（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junko Toriyama
2. 発表標題 Playing with social positions in contemporary Cairo: Female school teachers' manners and techniques of friend-making
3. 学会等名 5th World Congress for Middle Eastern Studies
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Junko Toriyama
2. 発表標題 Femininity or anti-machoism: revisiting women's roles in nonviolence
3. 学会等名 国際ワークショップ 「非暴力」という戦略、「非暴力」という未来
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長澤榮治
2. 発表標題 中東の「国のかたち」を作る三つの力とその行方
3. 学会等名 アジア経済研究所国際シンポジウム「不安定な中東と再建・再生への道」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長澤榮治
2. 発表標題 百年後の中東に平和はあるか 国のかたちと地域の歴史を振り返る
3. 学会等名 日本学術振興会カイロ研究連絡センター懇話会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toyoko Morita
2. 発表標題 Family Protection Law and Social Change in Iran
3. 学会等名 Annual Conference of Association of Korean cultural Anthropology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 後藤給美
2. 発表標題 イスラームの啓典とジェンダーー男女のあり方と役割を中心に
3. 学会等名 慶應義塾大学言語文化研究所公開講座「アジアの諸文化とジェンダー」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 シリア内戦 最古の都市文明の地から見る人類の近未来
3. 学会等名 日本中東学会第23回公開講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Middle Eastern Studies in Japan: Its Short History and Potential
3. 学会等名 Seminar: Minorities in the Middle East
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 20世紀前半の蘭領東インド・イスラーム社会における「近代家族」と子ども観 - 雑誌『アイシャの声(Soeara Aisjijah)』(1926-1941)に焦点をあてて
3. 学会等名 比較家族史学会第61回春季研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 服部美奈・西野節男
2. 発表標題 マレー世界におけるコロニアリズムとイスラーム教育 - 植民地官僚の認識と経験から -
3. 学会等名 日本比較教育学会第53回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 インドネシアの国際水準学校の事例
3. 学会等名 日本教育学会第76回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木康郎・服部美奈
2. 発表標題 ASEAN市民の教育 - タイとインドネシアの事例から
3. 学会等名 第1回東南アジア教育研究フォーラム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hattori Mina
2. 発表標題 Education in Japan's Remote Islands and Remote Areas as New Frontier
3. 学会等名 International Seminar: Strengthening of Maritime Culture and Historical Values in the Era of Global Competition (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鳥山純子
2. 発表標題 生殖に関わるカイロの大衆言説に見るイスラーム、国家、セクシュアリティ
3. 学会等名 日本中東学会第33回年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Junko Toriyama and Hiroko Minesaki
2. 発表標題 Rediscovering gender as a strong analytical tool to resist against the stereotypes of Middle East
3. 学会等名 Korean Association for Middle Eastern Studies (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長澤 榮治
2. 発表標題 The Future of Arab States, The Arab State System in the Post-Revolutionary Era
3. 学会等名 Japan- Egypt Academic Dialogue (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長澤 榮治
2. 発表標題 Pacifism for Japan and the Middle East
3. 学会等名 Japan- Egypt Academic Dialogue towards the Stability in the Middle East (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長澤 榮治
2. 発表標題 Pioneer Researchers of the Studies on Modern Japan and Modern Egypt: Professor Ra'uf 'Abbas and Professor San'eki Nakaoka
3. 学会等名 EJUST Open Seminar Series “ Inter-Cultural Salon ” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松永 典子
2. 発表標題 社会運動としてのフェミニズム批評
3. 学会等名 イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合研究「砂漠の探求者 女性たちと百年」第1回研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松永 典子
2. 発表標題 Comment on Dr Kreil ' s Talk: Can “ Intim ” Be Homosocial/homosexual?
3. 学会等名 国際ワークショップ「快樂の瞬間：現代カイロにおける時間、倫理、欲望」(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 後藤 絵美
2. 発表標題 Dressing Pious Bodies: Globalizing Media and Narratives of Repentance in Contemporary Egypt
3. 学会等名 Dressing Global Bodies (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 後藤 絵美
2. 発表標題 「イスラームにおける教育とジェンダー」総括コメント
3. 学会等名 公開セミナー「イスラームにおける教育とジェンダー」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長谷部圭彦
2. 発表標題 トルコの教育とジェンダー - オスマン帝国からトルコ共和国へ -
3. 学会等名 公開セミナー「イスラームにおける教育とジェンダー」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 久志本裕子
2. 発表標題 マレーシア・ムスリムの高等教育とジェンダー：女性が活躍するイスラーム系大学の風景から
3. 学会等名 公開セミナー「イスラームにおける教育とジェンダー」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山崎和美
2. 発表標題 近現代イランの教育とジェンダー
3. 学会等名 公開セミナー「イスラームにおける教育とジェンダー」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒木 英充
2. 発表標題 “ Dragomanity: An origin of multifaceted nature of Lebanese and Syrian migrants? ”
3. 学会等名 Workshop: The future of Lebanese and Syrian migration studies (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黒木 英充
2. 発表標題 Strategies for minorities in a plural society: A case of dragomans
3. 学会等名 Workshop of Religious and Politico-Social Minority Groups in Middle Eastern Societies (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 シリア内戦から見たロシア 「国際社会」総崩れへの歯止め？
3. 学会等名 ロシア・東欧学会 JSSEES (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 シリア内戦をめぐるイスラームと暴力のとらえ方
3. 学会等名 武蔵大学第65回公開講座 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 対テロ戦争と世界内戦 最終的(?)引金としてのシリア内戦
3. 学会等名 公開講演会「9・11から15年 中東の混迷と『イスラム国』」(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 世界を巻き込むシリア内戦 人類最古の文明地域における戦争の意味
3. 学会等名 第42回栃木県オリエントセミナー(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 鷹木恵子
2. 発表標題 V. Moghadam Globalization and Social Movements を読む
3. 学会等名 イスラーム・ジェンダー学科研・公募研究班「開発とトランスナショナルな社会運動」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林寧子
2. 発表標題 多民族多宗教国家の中のイスラーム：インドネシアとマレーシアの比較
3. 学会等名 中東・イスラーム教育セミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小林寧子
2. 発表標題 インドネシア ムスリム民主主義大国への道
3. 学会等名 中東学会第22回公開講演会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小林寧子
2. 発表標題 植民地期インドネシアのイスラーム系定期刊行物から見た世界：試論
3. 学会等名 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題 2016年度第4回「東南アジアのイスラームと文化多様性に関する学際的研究（第二期）」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡真理
2. 発表標題 Comment on "Discussing Islam, Gender, and The Modern World "
3. 学会等名 International Workshop "Discussing Islam, Gender, and The Modern World With Prof. Tariq Ramadan" (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Boubakri Hassen, Iwasaki Erina
2. 発表標題 Coping with the aridity in the rural and semi-nomad societies. Case of Tataouine/ South-East Tunisia
3. 学会等名 Tunisia-Japan Symposium on Science, Society and Technology (TJASST) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Unwittingly globalized: Connectivity of Lebanese and Syrian migrants during the late 19th and early 20th centuries
3. 学会等名 Symposium “ Crossing Boundaries: Migration, Mediation, Morality ” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 A Far Dwelling Friend is Better than a Near Kinsman?: The Structure of the Eastern Question and the Russian Involvement in the Syrian Civil War
3. 学会等名 The 10th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 The Syrian Civil War in Comparison with the Lebanese and Yugoslavian Civil Wars
3. 学会等名 2019 Korean Association for Middle East Studies International Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 YAMAGISHI Tomoko
2. 発表標題 Networking: Legacy of the Pre-Modern World Systems and the Post-Modern Orientals
3. 学会等名 Workshop “ Thinking Globalisation in the Middle East ” by Middle East Centre and The Van Leer Jerusalem Institute held at Middle East Centre, University of Oxford (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 YAMAGISHI Tomoko
2. 発表標題 Women ' s Football and Futsal in Iran
3. 学会等名 Women ' s Rights Research Seminar, St. Anthony ' s College, University of Oxford, UK (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 YAMAGISHI Tomoko
2. 発表標題 " Home in a pocket " for " Home-on-shoulders "
3. 学会等名 Nordic Conference of Middle East Studies (Helsinki, Finland) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 YAMAGISHI Tomoko
2. 発表標題 Neck, Maternity, and Sex-Change Operation: Controversy on the gender norms of Iranian football players
3. 学会等名 The International Union of Anthropological and Ethnological Sciences (Jagelonian University, Krakow, Poland) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 YAMAGISHI Tomoko
2. 発表標題 Women ' s Empowerment and Sports from a Viewpoint of a Japanese Researcher
3. 学会等名 First Biennial Conference on Contemporary Iranian Studies (University of Tehran, Iran) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森田豊子
2. 発表標題 現代イランにおける子どもの人権とイスラーム
3. 学会等名 日本中東学会第35回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森田豊子
2. 発表標題 バイヤールによるイラン革命再考
3. 学会等名 日本国際政治学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上薫
2. 発表標題 「困窮者の権利」とは何か：トルコの公的扶助の実践に見る権利概念の複数性（セッション名：ムスリム社会における「弱者の権利」）
3. 学会等名 日本中東学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹村和朗
2. 発表標題 長沢栄治著『近代エジプト家族の社会史』の狙いと全体構成
3. 学会等名 長沢栄治著『近代エジプト家族の社会史』読書会 「イスラーム・中東における家族・親族の再考」第8回集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鳥山純子
2. 発表標題 ムスリムの日常、あるいはイスラームのある日常ーあるエジプトの家族の話ー
3. 学会等名 日本中東学会第25回公開講演会「素顔の中東・イスラーム」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鳥山純子
2. 発表標題 中東における「ろくでなし」ジェンダー学の可能性
3. 学会等名 国際ジェンダー学会2019年年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junko Toriyama
2. 発表標題 The elderly care in contemporary Cairo and its possible effect on the patriarchal family
3. 学会等名 Seminaire Dynamique du genre en Afrique in EHESS, Paris (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鷹木恵子
2. 発表標題 「アラブの春」再来? スーダン、レバノン、そしてイラク についてのコメント
3. 学会等名 文科省科学研究費補助金 新学術領域研究「グローバル関係学」の緊急ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 服部美奈、神内陽子
2. 発表標題 「インドネシアの法学教育と法曹養成 - 一般系総合大学とイスラーム大学の比較の観点から」
3. 学会等名 日本比較教育学会第55回大会（国内学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 インドネシアにおける宗教の位置づけと宗教教育について
3. 学会等名 「大学と宗教」研究会（第3期） 第5回研究会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計46件

1. 著者名 長沢栄治	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 552
3. 書名 近代エジプト家族の社会史	

1. 著者名 臼杵陽	4. 発行年 2018年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 312
3. 書名 「中東」の世界史	

1. 著者名 岡真理	4. 発行年 2018年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 312
3. 書名 ガザに地下鉄が走る日	

1. 著者名 Hidemitsu Kuroki (ed.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 280
3. 書名 Human Mobility and Multiethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies 2: Tehran, Cairo, Istanbul, Aleppo and Beirut	

1. 著者名 Hidemitsu Kuroki (ed. Antranik Dakessian)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Beirut, Haigazian University Press	5. 総ページ数 718
3. 書名 Armenians of Syria: Proceedings of the Conference (24-27 May 2015)	

1. 著者名 黒木英充 (山口昭彦 編)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 352
3. 書名 クルド人を知るための55章	

1. 著者名 後藤絵美 (松山洋平 編) 他執筆者: 小布施祈恵子、下村佳州紀、平野貴大、法貴遊	4. 発行年 2018年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 528
3. 書名 クルアーン入門	

1. 著者名 鷹木恵子 (国際開発学会 編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 640
3. 書名 国際開発学事典	

1. 著者名 服部美奈 (小山静子・児玉亮子 編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本経済評論社	5. 総ページ数 294
3. 書名 子どもと教育 - 近代家族というアリーナ (家族研究の最前線)	

1. 著者名 服部美奈 (田中亨胤・越後哲治・中島千恵 編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 あいり出版	5. 総ページ数 222
3. 書名 改訂 未来に生きる教育学 - 変動期の教育の構築	

1. 著者名 服部美奈 (中矢礼美・西野節男・近藤孝弘 編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 368
3. 書名 地域研究 : 多様性の教育学へ	

1. 著者名 嶺崎寛子、鳥山純子 (訳) (ライラ・アブー=ルゴド 著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 書肆心水	5. 総ページ数 350
3. 書名 ムスリム女性に救援は必要か	

1. 著者名 嶺崎寛子 (東京都立大学東京社会人類学会 編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 弘文堂	5. 総ページ数 168
3. 書名 社会人類学年報 VOL. 44	

1. 著者名 山岸智子 (山岸智子 編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 224
3. 書名 現代イランの社会と政治 つながる人びとと国家の挑戦	

1. 著者名 鳥山純子 (小杉泰・黒田賢治・二ツ山達朗 編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 288
3. 書名 大学生・社会人のためのイスラーム講座	

1. 著者名 村上薫 (編著) 執筆: 村上薫、後藤絵美、宇田川妙子、岡戸真幸、鳥山純子、岩崎えり奈、松尾瑞穂、細谷幸子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本貿易振興機構アジア経済研究所	5. 総ページ数 245
3. 書名 不妊治療の時代の中東：家族をつくる、家族を生きる	

1. 著者名 鳥山純子 (村上薫 編) 執筆: 村上薫、後藤絵美、宇田川妙子、岡戸真幸、鳥山純子、岩崎えり奈、松尾瑞穂、細谷幸子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本貿易振興機構アジア経済研究所	5. 総ページ数 245 (81-110)
3. 書名 『不妊治療の時代の中東：家族をつくる、家族を生きる』 うち、分担執筆「女性からみたカイロの生殖の一風景 家族をめぐる二つの期待の狭間で」	

1. 著者名 鳥山純子 (村上薫 編) 執筆: 細谷幸子、竹村和朗、鳥山純子、岩崎えり奈、岡戸真幸、村上薫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本貿易振興機構アジア経済研究所	5. 総ページ数 79 (34-45)
3. 書名 『「中東における家族の変容」研究会調査報告書(ウェブ版)』うち、分担執筆「病の前の舅の姿を求めて」	

1. 著者名 後藤絵美	4. 発行年 2017年
2. 出版社 かもがわ出版	5. 総ページ数 31
3. 書名 イスラームってなに？ シリーズ1 イスラームのおしえ	

1. 著者名 後藤絵美（村上薫 編）執筆者：村上薫、後藤絵美、宇田川妙子、岡戸真幸、鳥山純子、岩崎えり奈、松尾瑞穂、細谷幸子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本貿易振興機構アジア経済研究所	5. 総ページ数 245(17-41)
3. 書名 『不妊治療の時代の中東：家族をつくる、家族を生きる』 うち、分担執筆「不妊治療と宗教 イスラームを中心に」	

1. 著者名 黒木英充（歴史学研究会編）執筆者：岸本美緒、廣瀬憲雄、野田仁、黒木英充、加藤玄、中澤達哉、川戸貴史、横山百合子、高澤紀恵、小野沢あかね、飯島渉、池田嘉郎、三品英憲、成田龍一、須田努、松沢裕作、西山暁義、永野善子、鈴木茂	4. 発行年 2017年
2. 出版社 績文堂出版	5. 総ページ数 303+ix(48-63)
3. 書名 『第4次 現代歴史学の成果と課題2 世界史像の再構成』 うち、分担執筆「イスラームと地域論」	

1. 著者名 Hidemitsu Kuroki (Katsumi Fukasawa, Benjamin J. Kaplan, Pierre-Yves Beaurepaire ed.) 執筆者：Alain Tallon、Miriam Eliav-Feldon他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 343+xii(207-298)
3. 書名 Religious Interaction in Europe and the Mediterranean World; Coexistence	

1. 著者名 近田政博、乾美紀、服部美奈（山内乾史他編著）執筆者：山内乾史、杉本均、小川啓一、原清治、近田政博、小原優貴、服部美奈、乾美紀、南部広孝、石川裕之、野村真作、荘所真理	4. 発行年 2017年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 183(40-64)
3. 書名 『現代アジアの教育計画 補巻』 うち分担執筆「東南アジアの教育計画と質向上のための課題」	

1. 著者名 長澤榮治・栗田禎子（編著）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 259
3. 書名 中東と日本の針路 「安保法制」がもたらすもの	

1. 著者名 長澤榮治・後藤晃（編著）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 266
3. 書名 現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム	

1. 著者名 長澤榮治（編著）執筆者：長澤榮治、鳥山純子、阿部尚史、宇野陽子、大河原知樹、松尾瑞穂、斎藤みどり、白杵陽、黒木英充、足立真理子、ターリク・ラマダーン、岡真理、鶴戸聡、竹村和朗、鷹木恵子、森田豊子、嶺崎寛子、服部美奈、岩崎えり奈、村上薫、塩尻和子、山岸智子、松永典子、小林寧子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究事務局	5. 総ページ数 189
3. 書名 イスラーム・ジェンダー学の構築に向けて	

1. 著者名 後藤絵美（孝忠延夫・高見澤磨・堀井聡江編）共著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 成文堂	5. 総ページ数 284（46-77）
3. 書名 現代のイスラーム法	

1. 著者名 後藤絵美（村上薫 編）執筆者：村上薫、後藤絵美、岡戸真幸、鳥山純子、細谷幸子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 アジア経済研究所	5. 総ページ数 64（ウェブ出版のためページ数なし、担当11）
3. 書名 『「中東イスラーム諸国における生殖医療と家族」研究会調査報告書』うち、分担執筆「イスラームと生殖補助医療」	

1. 著者名 黒木英充（後藤晃・長澤榮治編）共著 執筆者：長澤榮治、今井宏平、後藤晃、臼杵陽、黒木英充、吉岡明子、ケイワン・アブドリ	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 266（152-179）
3. 書名 現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム	

1. 著者名 黒木英充（長澤榮治・栗田禎子編）共著 執筆者：板垣雄三、臼杵陽、田浪亜央江、山岸智子、山尾大、黒木英充、宮田律、佐原徹哉、鈴木規夫、水谷周、尾崎英紀、役重善洋、小田切拓、飛内悠子、長澤榮治、宮治美江子、塩尻和子、岡野内正	4. 発行年 2016年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 259（78-91）
3. 書名 中東と日本の針路 「安保法制」がもたらすもの	

1. 著者名 岩崎えり奈(松尾昌樹・岡野内正・吉川卓郎編著)共著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 344 (81-102)
3. 書名 中東の新たな秩序	

1. 著者名 加藤博・岩崎えり奈	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Brill	5. 総ページ数 294
3. 書名 Rashda: The Birth and Growth of an Egyptian Oasis Village	

1. 著者名 白杵陽・鈴木啓之 (編著)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 394
3. 書名 パレスチナを知るための60章	

1. 著者名 白杵陽(塩尻和子編)共著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 416 (94-116)
3. 書名 変革期イスラーム社会の宗教と紛争	

1. 著者名 嶺崎寛子（川橋範子・小松加代子編）共著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 223（69-100）
3. 書名 宗教とジェンダーのポリティクス フェミニスト人類学のまなざし	

1. 著者名 嶺崎寛子（私市正年・浜中新吾・横田貴之編）共著	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 390（142-150）
3. 書名 中東・イスラーム研究概説 政治学・経済学・社会学・地域研究のテーマと理論	

1. 著者名 鷹木恵子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 530
3. 書名 チュニジア革命と民主化：人類学的プロセスドキュメンテーションの試み	

1. 著者名 小林寧子（小泉順子編）共著	4. 発行年 2017年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 340
3. 書名 歴史の生成：東南アジア史のナラティブとメタナラティブ	

1. 著者名 Iwasaki Erina and Kashiwagi Kenichi	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Nova Science Publisher	5. 総ページ数 270
3. 書名 Farming Patterns in Date Palm Cultivation in Nefzaoua, Southern Tunisia In Bolduc ed. Date Palm: Composition, Cultivation and Uses	

1. 著者名 牧野久美子・岩崎えり奈編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 471
3. 書名 新世界の社会福祉 11巻 アフリカ/中東	

1. 著者名 森田豊子・小野仁美編著、長沢栄治監修	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 263
3. 書名 イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 1 結婚と離婚	

1. 著者名 鷹木恵子編著、長沢栄治監修	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 249
3. 書名 イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 2 越境する社会運動	

1. 著者名 黒木英充	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 7+353+14 (233-258)
3. 書名 永原陽子編『人々がつなぐ世界史』（第8章 レバノン・シリア移民の拡散とネットワーク）	

1. 著者名 長澤榮治	4. 発行年 2020年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 181
3. 書名 日本のイスラームとクルアーン 現状と展望	

1. 著者名 白杵陽	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 392
3. 書名 日本人にとってエルサレムとは何か：聖地巡礼の近現代史	

1. 著者名 白杵陽	4. 発行年 2020年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 406
3. 書名 「ユダヤ」の世界史：一神教の誕生から民族国家の建設まで	

〔産業財産権〕

〔その他〕

イスラーム・ジェンダー学構築のための基礎的総合的研究
<http://islam-gender.jp/news/261.html>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	村上 薫 (Murakami Kaoru) (00466062)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・新領域研究センター ジェンダー・社会開発研究グループ・研究グループ長代理 (82512)	
研究分担者	松永 典子 (Matsunaga Noriko) (00579807)	早稲田大学・教育・総合科学学術院・准教授 (32689)	
研究分担者	後藤 絵美 (Goto Emi) (10633050)	東京大学・日本・アジアに関する教育研究ネットワーク・特任准教授 (12601)	
研究分担者	鳥山 純子 (Toriyama Jyunko) (10773864)	立命館大学・国際関係学部・准教授 (34315)	
研究分担者	森田 豊子 (Morita Toyoko) (10791113)	鹿児島大学・グローバルセンター・特任准教授 (17701)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	黒木 英充 (Kuroki Mitsuhide) (20195580)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授 (12603)	
研究分担者	岩崎 えり奈 (Iwasaki Erina) (20436744)	上智大学・外国語学部・教授 (32621)	
研究分担者	服部 美奈 (Hattori Mina) (30298442)	名古屋大学・教育発達科学研究科・教授 (13901)	
研究分担者	岡 真理 (Oka Mari) (30315965)	京都大学・人間・環境学研究科・教授 (14301)	
研究分担者	臼杵 陽 (Usuki Akira) (40203525)	日本女子大学・文学部・教授 (32670)	
研究分担者	山岸 智子 (Tomoko Yamagishi) (50272480)	明治大学・政治経済学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	嶺崎 寛子 (Minesaki Hiroko) (50632775)	愛知教育大学・教育学部・准教授 (13902)	
研究分担者	鷹木 恵子 (Takaki Keiko) (60211330)	桜美林大学・人文学系・教授 (32605)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	小林 寧子 (Kobayashi Yasuko) (60225547)	南山大学・外国語学部・教授 (33917)	
研究 分 担 者	竹村 和朗 (Kazuaki Takemura) (60782654)	高千穂大学・人間科学部・准教授 (32637)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計11件

国際研究集会 国際ワークショップ「イスラームのスピリチュアリティにおける女性 アラーウィー・スーフィー教団の事例」	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 国際ワークショップ「「非暴力」という戦略、「非暴力」という未来」/ International Workshop "Nonviolence as a Strategy, Nonviolence in the Future"	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 国際ワークショップ「トランスナショナル運動としての「ムサーワー (Musawah)」/ International Workshop "Transnational Advocacy for Equality in the Muslim Family"	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 国際ワークショップ「『生きた書』としての聖典：クルアーン、ジェンダー的公正、現代のムスリム」/ International Workshop "Living Text: The Qur'an, Gender Justice, and Muslims Today"	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 International Workshop "Law and equality in the Middle East from a gender perspective: a post-2011 view"	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 International Workshop "White Hijab movement in Iran and its gendered implications: A new relationship between Social Media and Social Movement"	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 ターリク・ラマダーン氏を迎えて	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 快樂の瞬間：現代カイロにおける時間、倫理、欲望	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 Ito International Research Centre Symposium "Crossing Boundaries: Migration, Mediation, Morality"	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Recruitment, Romanticism and Military Dress: Britain and the Bedouin in the interwar Middle East	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Islamic Law and the Liberation of Women Slaves in Iran	開催年 2019年～2019年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------